

湘南国際村活性化検討委員会（第1回）

- 1 日 時 平成30年3月29日（木） 10:00～12:00
- 2 場 所 神奈川県庁 新庁舎9階 議会第7会議室
- 3 出席者 委員11名
- 4 内 容

会議の冒頭で、事務局から「当委員会は「非公開」という形で運営させていただく。ただし、委員会の概要、議題等は県のホームページで公開し、その際、委員のお名前を掲載する」旨を説明し、了承された。

（1）委員長の選任について

委員の互選により、高橋委員長が選任された。

（2）湘南国際村の現状等について

湘南国際村の現状、課題を整理した資料により、以下の内容を説明した。

- ・ 定量データ（人口の推移、人口ピラミッドなど）
- ・ 改訂基本計画
- ・ 横須賀市、葉山町の地区計画
- ・ 入村機関からのヒアリング、アンケート
- ・ 課題（建物の用途規制、商業施設、交通の利便性など）

（3）今後の検討の進め方等について

今後のスケジュールを提示した。

委員から、主に以下の意見があった。

- ・ 平成6年に掲げたコンセプトが正しいのかどうか、あるいはそれを変えるべきなのかどうか、議論をするのか。それとも「平成6年に掲げたこのコンセプトは、変えないのだ」とするのか。名前そのものが「湘南国際村」なので変えられない、それを前提とした議論をするのだ、ということか。ここが、我々の議論の大きなポイントなのではないか。
- ⇒（事務局から発言） 基本的には、本質的な部分は動かしたくないと考えている。

これまで基本計画という土地利用のあり方については改訂してきたが、昭和60年にできた基本構想については、いじっていない。

したがって、基本構想部分は基本的には変えないが、土地利用としての膨らみの部分を考えていきたい。

- ・ ここを魅力ある場所にして、かつリピーターを増やしていくためにはどうしたらよいのかと考えると、A地区だけでなく、BC地区も含めて、どう魅力を作っていくかということになる。今は「コト消費」という言葉も流行っているが、感動体験をどれだけ作れるかということであり、そこに知恵を絞るしかない。既存の規制、枠組みを一度置いておき、新しいコンセプトをこの場で議論する、という方が生産的なのではないかと思う。ルールを所与のものとせず、それも変えていけるという前提のもとに、我々がコンセプトを議論するということだと考えている。
- ・ 今回の国際村そのものの地域だけではなく、三浦半島として、あるいは神奈川県としてどう位置付けるのか。そうした議論をする、ということによいか。
⇒（事務局から発言） 湘南国際村の基本計画、地区計画はこの地域の範囲内の話だが、まずは湘南国際村を三浦半島の中でどう位置付けていくか、といった議論もしていただければありがたい。
- ・ 今後の議論を進めていく中で、地域の方の声が重要になってくると思う。アンケートは施設に対して行われているが、住民に対してアンケートなどを行う考えはあるのか。
⇒（事務局から発言） 地元の方々に説明するタイミングを7月上旬くらいと考えている。地元の方に何も言わずに最終結論が出て、「こう決まりました」ということではない。委員のご意見も踏まえて、地元の方々にも丁寧に説明しながら進めていきたい。
- ・ 5年先、10年先を考えると、一番多い70歳台前半の方々がまだ元気なうちに、この地域をどうしていくかということと一緒に考えていかなければならないと思う。幸い、まだ50、60歳台の元気な層もかなりいらっしゃるので、今のうちに、この方々のお知恵も借りながら、議論していきけるとよいと感じた。
⇒（事務局から発言） 住民の方々への説明については、私どもも丁寧にやっていきたいと考えている。

湘南国際村活性化検討委員会（第2回）

- 1 日 時 平成30年4月23日（月） 10:00～13:45
- 2 場 所 湘南国際村センター 地下1階 特別研修室
- 3 出席者 委員10名
- 4 内 容

議事に入る前に、湘南国際村センター及び湘南国際村を視察した。

(1) 進め方（案）について

今後のスケジュールにおける議事（案）を説明した。

(2) 湘南国際村の現状と課題等について

A地区、BC地区の現状と課題、周辺の状況（横須賀市、葉山町、三浦市、商業施設、交通網）を説明した。

(3) 次回検討委員会でのご提案について

次回の検討委員会で具体案を提案していただくよう各委員に依頼した。

質疑応答において、主に以下の意見があった。

- ・ 今後、案を詰めていき、6月の議会に示す際は、1つの案に絞るのか、あるいは複数の案を列挙した形でまとめていくのか。方向性を探るに当たって、どのようなまとめ方をするのか、整理が必要なのでは。
- ⇒（事務局から発言） 具体的な1つの案だけを示すのではなく、さまざまなご提案、複数の案の中から、大きな方向性を見定めていくというイメージである。「1つの案に決定した」と示すことは考えていない。
- ・ まず「構想」があって、「10年後」「20年後」の「ビジョン」がある。その「ビジョン」に向かうために、どんな「施策」を打っていくか、というように、頭の整理をしている。その時、何を「ビジョン」「コンテンツ」「施策」というか。言葉の整理をしないと、混乱するのではないか。こうした言葉の定義をしていただいて、どういう資料作りをしていけばよいのか考えていくべきではないか。
- ・ 皆様からご提案をいただき、そこからビジョンなり構想を考えた時、本当に実現できるのかを議論しながら、その案を県が例として資料に使うのがよいのでは。

（裏面白紙）

湘南国際村活性化検討委員会（第3回）

- 1 日 時 平成30年5月9日（水） 13:00～16:30
- 2 場 所 神奈川県庁 新庁舎9階 議会第7会議室
- 3 出席者 委員12名
- 4 内 容

（1）具体案の提案について

各委員が具体案を提案した。

また、「構想」「コンセプト」といった用語の定義について、整理して説明した。

質疑応答において、主に以下の意見があった。

- ・ 情報発信は最優先課題。
- ・ 今やるべきこと、目先でできることがたくさんあるので、それと新規でやるべきこと、長期的にこの街をどうしていくかということ、きちんと足下まで落とし込んで計画しないと計画倒れになってしまう。できることと、できないことを仕分けして、できることは明日にでもやった方がよい。そういう意識をもってやってもらった方がよい。
- ・ 宿泊施設として鎌倉から近いが、誰も知らない。告知した方がよい。施設もよい。
- ・ 周辺には鎌倉、三浦半島全体があり、それらと連携してコマースをすれば、湘南国際村センターは十分採算が取れると思う。
- ・ ぜひお願いしたいのが、湘南国際村のもう少し詳細なマップ。あと、乗り継ぎで、どういう交通便があるのか。時刻表にリンクを飛ばすだけでもよい。そうしたアクセス、足回りの部分。それからイベント情報の更新。その3つだけは最低限整えておくのが重要で、見やすさよりも内容の更新性が非常に大きい。来ていただくための手立てがそこしかないの、そこだけは注意を。
- ・ 「情報発信」、それから「連携促進」。この2つは、他のコンセプトを実現する上での共通基盤として設けなければならない、と感じた。
- ・ 提案された具体案を様々な切り口で整理して、項目ごとにソートすると、例えば「短期で費用が少ないものがあれば、すぐに取り組める」という施策、あるいは中長期のものなどが浮かび上がってくるのではないかと。施策展開の流れ、ストーリーが見えてくると思う。

（裏面白紙）

用語の整理

① 構想 <目指すがた> = 「基本構想」 S60

- ・ 国際的視野に立脚した「学術研究」「人材育成」「技術交流」「文化交流」という相互に関係の深い四つの基本的目的を持ち、多様な交流を展開することにより、国際社会に貢献するとともに、地域社会の発展に寄与する多目的な滞在型の**国際交流拠点**とする

② ビジョン (コンセプト) <構想を実現するための具体的な考え方 (方針)> = 「基本計画」 S63、「改訂基本計画」 H18

- ・ A 地区の方針 = 「湘南国際村機能の充実を図る」「国際交流拠点として**将来にわたって持続していくようなまちづくり**を目指す」
機能の位置付け 「研究・研修機能」「居住機能」「商業・業務機能」「教育・健康・福祉機能」「公共公益機能」
- ・ BC 地区の方針 = 「『大楠山の緑を活用した地区』と位置づけ、**緑の再生と保全**を図り、村内居住者や来村者が**憩い、安らぎ、学び、交流する**とともに、**健康を育む場**としての緑の空間の創造と、緑陰滞在型の国際交流拠点としての機能向上を高める」
機能の位置付け 「防災機能」「交流機能」

<土地・建物の枠組み> = 「地区計画」(横須賀市、葉山町)

- ・ 横須賀市 = 「研究・研修施設地区」「生活支援施設地区」「住宅地区」「商業・業務地区」「公共公益施設地区」
- ・ 葉山町 = 「研究・研修施設地区」「商業・業務施設地区」「公共公益施設地区」

③ 施策 (コンテンツ) <具体的な取組> = 個別の事業

(裏面白紙)

湘南国際村活性化検討委員会（第4回）

- 1 日 時 平成30年5月24日（木） 10:00～12:00
- 2 場 所 神奈川県庁 新庁舎9階 議会第7会議室
- 3 出席者 委員11名
- 4 内 容

（1）今後の進め方について

今後の進め方について、当初は「村全体の活性化の方向を8月までにとりまとめる」こととしていたが、そのスケジュールを見直し、年度末まで検討を継続することとした。

その上で、短期で対応するものは県が先行して取り組み、中長期で対応するものは検討委員会で議論することとした。

また、6月に予定する住民等との意見交換について、その概要を説明した。

委員から、主に以下の意見があった。

- ・ 「構想」があり、「ビジョン、コンセプト」があり、「施策」がある。コンセプトの中には、A地区、BC地区の機能が示されている。このコンセプトを考えるに当たり、この委員会として、課題をどうとらえているのか、ということだと思う。課題としては、住民の方々のことや、「交流人口を増やす」などの整理ができると思うが、その課題の中には、これから施策を展開する中で、施策同士を連携させるとか、調整するという機能が必要ではないか、という「課題」がある。
- ・ 課題を書いて、そこからコンセプトの中に「連携機能が必要だ」ということを示す。そして、「施策」の下に、各メニューがあるのだと思う。このメニューとつながらないという話があったと思うので、「つながる考え方」を記載する。そして、今後の検討として、たくさんある施策の中で、いくつかのバリエーションがあり、何に重きを置くのかを議論していくという整理にすれば、分かりやすいのではないか。
- ・ 「課題認識」をもう一度整理をして、住民の方々の課題認識とも突き合わせ、整理していただきたい。
- ・ アイデアとして、6月の意見交換では、「このように現状をとらえている」ということと、「現状を踏まえて、このような課題認識を持っている」「他に課題を挙げると、どんなものがあるか」「我々のとらえている課題は正しいか」という内容とするのが、一つの方法ではないか。

私が住民の立場であれば、自分の意見が盛り込まれているのか、課題認識が共通なのか、違う方向に行くのではないかと心配なので、今日の議論もそうだが、課題を共通認識として持つことが非常に重要。6月は、住民

の皆様と課題認識を共有することを目的に開催するのが、一つのアイデアだと思う。

(2) 具体案の整理について

前回までに各委員から提案された具体案を整理し、提示した。

委員から、主に以下の意見があった。

- この後、検討を進めていく上で、課題の整理が非常に大事になってくると考えている。期間が8カ月以上ある中で、住民との意見交換のフィードバックを、メールでもよいので情報提供していただきながら、具体案をブラッシュアップしていかないと、アイデアだけが独り歩きしてしまい、後で課題と突き合せた時に、全く合わない状態になってしまうと本末転倒になる。
- 具体案そのものを議論するのではなく、大きなコンセプトに結びつける整理の仕方、考え方がうまく浮き彫りになるかどうか重要。

湘南国際村の関係者との意見交換について

1 目的

- ・ 湘南国際村活性化検討委員会において、湘南国際村の活用方策について検討を進める中で、早期に関係者との意見交換が必要、との意見が委員から提出されている。
- ・ そこで、湘南国際村の関係者との意見交換の場を設け、検討委員会の検討状況を説明するとともに、意見交換をすることで、今後の検討委員会における議論の参考とする。

2 日時

- (1) 平成 30 年 6 月 10 日 (日) 14:00～16:00
- (2) 平成 30 年 6 月 15 日 (金) 19:00～21:00

3 場所

湘南国際村センター 1階 ルミエール

4 湘南国際村の関係者

村内居住者、村内立地機関、周辺自治会、BC 地区活動団体

5 説明側の参加者

神奈川県

6 主な議題（説明事項）

- ・ 検討委員会の趣旨及び検討状況
- ・ 今後のスケジュール
- ・ 「これからの湘南国際村」について意見交換

7 関係者への周知の方法

5月24日(木)の検討委員会で意見交換の進め方を議論した後、可能なら5月25日(金)に周知開始

- ・ 村内の居住者には、自治会長を通じ、回覧板で周知
- ・ 村内の立地機関には、県から直接メール及び電話で連絡
- ・ 周辺自治会には、市町に確認の上、個別に連絡
- ・ BC 地区活動団体には、県から直接メール等で連絡

(裏面白紙)

湘南国際村活性化検討委員会（第5回）

- 1 日 時 平成30年7月18日（水） 10:00～12:15
- 2 場 所 神奈川県庁 新庁舎5階 第5会議室
- 3 出席者 委員10名
- 4 内 容

（1）住民等との意見交換について

6月に実施した住民等との意見交換の結果を報告し、住民からの主な意見として、以下のような内容を紹介した。

- ・ 住民の代表を検討委員会の委員にすべき
- ・ 活性化とは何かを示すべき
- ・ 交通、商業施設、医療機関といった生活環境を改善することが活性化。ここを終の棲家になりたい
- ・ 若い世代が暮らせる街にしたい
- ・ 高齢化を負の財産とせず、逆転の発想で「自動運転で巡回するバス」など夢のある構想を出せば、皆協力する
- ・ BC地区に何か特徴のある、緑を生かしたものを。トレッキングルートを作れば、関心を持たれるのでは
- ・ 計画改訂後、どの部分が達成されているのか確認を

（2）課題、コンセプト、具体案の整理について

これまでの委員の意見を踏まえ、「課題」「コンセプト」「具体案」の関連性を整理し、説明した。

委員から、主に以下の意見があった。

- ・ この会議の中で、生活環境の向上をどう位置付けて検討するのか、確認したい。
⇒（事務局から発言）元々、我々としては交流人口の増加をもって活性化していくという大きなストーリーはあったが、住民の皆様からは「それもあるが、生活環境の改善こそが活性化だ」というご意見も多くあった。
我々としても「交流人口を増やして終わり」ということではなく、それが結果として住民の皆様生活環境の向上にもつなげていきたいと思っている。
- ・ この委員会の設置目的として一番大きな部分は、もっと長い目で考えるというところ。今の問題は認識するが、それはこの委員会ではなく、別の場を作るのだと思うが、それは県ではなく、住民の住所のある横須賀市、あるいは施設のある葉山町、という観点から動かないとおかしなことになっ

てしまう。そのあたりは、一度交通整理をしていただきたい。

- ・ 「今すぐ解決しよう」とすると難しいが、中には、生活環境を向上するものも一部含まれている。
- ⇒（事務局から発言） 中長期で対応するものについては、この検討委員会で議論する。短期で対応するものについては、県が受け止めて、横須賀市や葉山町と意見交換をしながら、必要に応じてこの検討委員会に報告する。

(3) 今後のスケジュールについて

年度内のスケジュールを改めて整理し、説明した。

(4) アンケートについて

住民に対するアンケート（案）を説明した。

委員から、主に以下の意見があった。

- ・ 中長期の課題を解決するために、まず、住民の方々のご意見を集約するのであれば、それをカバーレターに明記していただく必要があるのでは。
- ・ アンケートは全戸配布のメディアであり、非常に重要なコミュニケーション手段だと思う。カバーレター1枚のレイアウトや、言葉遣いなど、本当に貴重なチャンスだと思って作り込むことが望まれる。

(5) 住民代表の参加と公開について

住民代表の参加と公開について、以下の説明をし、了承を得た。

- ・ 次回から、住民代表が委員として参加
- ・ 次回からは資料を含めた全面公開とし、傍聴あり

過去の資料、議事録の内容については、事務局で整理して各委員に確認の上、公開することとなった。

湘南国際村の活性化に向けた検討に関する意見交換（第1回-①）

- 1 日 時 平成30年6月10日（日） 14:00～16:20 （天気：雨）
- 2 場 所 湘南国際村センター 1階 ルミエール
- 3 出席者 26名
- 4 発言要旨（※資料説明の最後に、委員会の「非公開」について以下のとおり説明）

- ・ これまでは委員会を「非公開」としてきたが、方向性をとりまとめるに当たり、柔らかな段階で、何らかの形で委員会を「公開」することを検討したい。

出席者からのご意見	県の回答
<p>「持続可能な開発」の定義がよく分からない。</p>	<p>「発展」とあるが、平成18年の前の当初計画のようにBC地区を開発するのではなく、自然環境を生かしながら、交流人口を増やして多くの方に来ていただけるような場所にできないかと考えている。</p>
<p>あくまで研修施設などが中心で、ここに住んでいる人を増やそうという意識が皆さんに全くないのでは。活性化検討委員会に国際村の関係者、ここに住んでいる人は、全く入っていない。それで、どうやって活性化が検討できるのか、不思議でならない。活性化といたら、ここに住んでいる人をいかに増やすか、しかない。これから先、そうした代表を委員に入れていくことを考えているのか。</p> <p>道路も、計画ばかりでなかなかできない。バスも全くない。行政的には西行政センターにどうやって行ったらよいのか。もっと身近なところから、活性化を考えていただきたい。</p>	<p>人数が減少しているのは、利便性の面からだと思う。便利にできれば一番よいが、施設を持ってくるとは言えない。まずは交流人口を増やすことで、バス便など利便性につながり、「住んでみよう」とつながっていくのではないかと。10年先、20年先と申し上げたが、今、この段階で取り組んでいかないと、いけないのでは。</p> <p>検討委員会のメンバーに、住民の代表をというお話があった。私どもだけで決められないので、自治会と相談し、代表の方に委員として加わっていただくことを検討したい。</p> <p>三浦半島中央道路は道路部門になるので、そうしたお声を伝え、今後につなげたい。バス便についてもつなげたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>外から訪れる人を増やすことは我々住民にとって何のプラスでもない。住民が1,000人になったところで民間はついてこない。</p> <p>住民に、最低限、住んでいけるだけのインフラをサポートすることが行政の仕事。活性化というが、もっと足下を見た政策を委員会で考えてほしい。住民と研修施設のどちらに軸足を置いているのか。</p>	<p>やれることを今からやっていかないと、例えば20年間このまま何もしないでいたら、どうなってしまうのか。そこを何とかしたい。やれることとして、まず交流人口を増やして、人が来るようにすることではないか、と考えている。</p> <p>「最低限のサポート」という話だが、我々がお金を出して、何か建物を建ててということは、今の時代、できない。そうではなくて、最低限のインフラを整うように、何ができるのか。それを一生懸命考えさせていただいて、少しでも実現していきたい。</p>
<p>何のために「活性化検討委員会」という大それた名前が必要なのか。基本計画をまた違う形で提案しよう、ということかと思って来たが、BC地区の利用がベースにないと、この会合自体が理解できない。</p>	<p>BC地区を切り開いて、住宅やレジャーランドにするということはない。市街化調整区域であり、建物を建てる場所ではない。</p> <p>だが、自然環境を生かして、何ができるか考えているが、委員会は「BC地区をレジャーランドにします」と決定する場ではない。</p> <p>一番上に「基本構想」があり、「国際交流拠点」とうたっている。その下に、「基本計画」があり、ここで「研修・研究施設」などが示されている。今回検討しているのは前回と同じ部分であり、A地区、BC地区が何を目指し、実現するのか、何のための場所なのか、どんな機能が必要なのかを考えていきたい。</p> <p>今日を皮切りに住民の皆様からご意見をいただき、一方で有識者の方々のご意見もいただき、それらをつなげて年度内にとりまとめたい。</p>
<p>国際村の活性化と持続的な発展というのが、よく分からない。</p> <p>これまで検討委員会が4回開かれているが、どういったことが検討されて、どんな内容が話されているのか。その中身の資料をいただきたい。</p> <p>何のために、今日、ここに来たのか。外の方との交流が増えて、というのは、安全面、防犯面がどうなのだろうか。バスの本数さえ増えてくれれば、利便性さえ向上してくれれば。そこだけだ。何をもちって活性化、発展としているのか。</p>	<p>今までの4回の検討委員会での資料や、発言された具体案は、非公開。</p> <p>検討委員会では、住民の方々のご意見をきちんと聞かないと駄目だという話を何回もいただいている。検討委員会と住民の皆様の考えがつながらなくなり、絵に描いた餅になってしまうことのないように、と言われている。</p> <p>今回のような場を持つ理由は、湘南国際村の課題を、皆様と一緒に共有するため。今、何かが決まっているわけではない。皆様からのご意見を踏まえて、検討していく。その皮切りにしたい、という考え。</p> <p>バスの話も改めて認識したので、皆様のご意見を追加していく。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>湘南国際村の活性化の一環として、この村を国際的な学生交流の場とするため、国際学生ゼミナールの開催を提案する。現在の政治、経済から、技術、これからの働き方などについて活発に議論を交わすとよい。</p>	<p>基本構想に掲げる国際交流拠点に通じる話。貴重なご意見として、これからの議論に生かしていきたい。</p>
<p>本来であれば、平成 15 年の人口ピーク時に高齢化は見えていたのだから、国、県、市は何らかの対策を打つべきだった。私は、平成 27 年の時に「この村に、長く住み続けられる」ということを主題に考えた。</p> <p>交通手段の問題として、通院、通学、通勤の 3 点セットがある。国でも「かかりつけ医」を推奨しているが、近場では行けない。小学生、中学生は、葉山に越境で、横須賀市の学校には、バスを乗り継ぐ必要がある。ほとんどの親御さんは、車で送迎している。</p> <p>買い物も課題。免許証を返上される方もいるが、買い物ができなくなる。京急ストアは、バスを運行している。我々としては「延長して湘南国際村まで来てほしい」と要望を出している。</p> <p>特養と高齢者の施設を作ってもらえれば、ここにいる方はそのまま入り、長く住んでいられる。一番、人に大切なのは、近所との付き合い、人と人との付き合い。ここに住んでいる理由を議論していただくと、前に進めるのでは。</p>	<p>書類を見ただけでは分からない、生の声をお聞かせいただくために、こうして顔を合わせてお話ししたく、お忙しいところをご参加いただいている。</p> <p>村をより魅力的な場所にするために、何をするのか。いろいろな立場もあり、若い方もいればご年配の方もいる。賑やかになればという思いと、静謐な環境という面もある。全てが百点とはできないかもしれないが、お話を直接聞かせていただいて、どうしたら魅力的な場所になるのかを考え、訪れてくれる方、住みたいという方が出てくるようにしたい。</p> <p>特養や高齢者の施設というお話があったが、終の棲家にしたいと思う場所とは何なのかを、一緒に考えたい。</p>
<p>活性化の意味を住民と県、検討委員会の委員で共有しないと、バラバラの方向に行ってしまう。</p>	<p>課題の共有だけではなく、「活性化とは何か」についてお示しできるようにしたい。私どもから「交流人口の増加」と申し上げたが、もう一度整理しなおして、皆様と共有できるようにしていきたい。</p>
<p>住民からヒントをもらうだけで、検討委員会は密室でやるのは非常におかしい。予算を持っているのか。ハードは作れずソフトだけで、アイデアだけで、検討委員会で「こうすると交流が進む」では住民は置き去りだ。</p> <p>バスの問題も、結局は民間頼り。住民主体で少し考えないとどんどん過疎化し若い人は来ない。生活を第一に考えながら、活性化を考えなくてはいけない。</p>	<p>まずは「生活あつての」という部分が大前提であり、出発点。県は、市との役割分担の中で、直接の住民サービスはできないが、横須賀市、葉山町としっかり手を携えて、取り組んでいきたい。県としてできることは、国への働きかけや民間事業者への働きかけなどであり、しっかり進めていきたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>有識者の方たちと「活性化とはなんぞや」をしっかりと決めて、こちらにお返しするのは、今後さらに2回ある意見交換の場になるのか。活性化については、4回の会議でいろいろな話が出ていたと思うが、どんな話が出ていたのか。</p> <p>今後6月以降、検討委員会を何回やるか、自治会が加わっての検討委員会が何回あるのか。こうした意見交換の場を何回予定しているのか。</p>	<p>今日のような住民の方々との意見交換の場は、あと2回ほど開催したい。次回はおそらく9月頃で、その後もう1回かと考えている。検討委員会は、あと4回程度と考えている。</p> <p>これまで4回の検討委員会の中では、まず湘南国際村に様々な課題があつて、その課題に対応するために、魅力ある、人が来たくなる場所になっていく必要があるだろう、という話が出ている。そのためのアイデアを議論していただいた。「そうしたアイデアからすると、こうした方向性が考えられるのではないか」という議論に、これからつなげていきたい。</p>
<p>資料に「生活環境 ①交通、②商業施設、③医療機関」とあるが、これが活性化。友達がどんどん山を下りていく。こんなに悲しいことはない。終の棲家だと思って、こちらに引っ越してきた。免許も返納できない。買い物ができない。住民はここに住んで、とても環境がよいので、本当に終の棲家にしたいと思っている。どうしたらよいかと言えば、ここに書いてある3つでは。</p> <p>住民が利用できるような施設を呼んでいただきたい。活性化のために、その3つくらいを何とか助けてほしい。そうすれば、終の棲家になる。</p>	<p>横須賀市、葉山町、そして必要に応じて国にも伝えていきたい。</p>
<p>湘南国際村に活性化が必要だと県が判断して、こういう委員会を立ち上げた理由を教えてほしい。ここに住んでいる人、働いている人のことを思って活性化が必要だと思われたのか。それとも、ここを活性化することができれば、周辺の自治体や三浦半島全体の活性化につながり、神奈川県の税収の増につながるので、湘南国際村を活性化したいと思われたのか。</p>	<p>どちらか一つだけ、ということではない。それでもどうなのか、と言われれば、それはお住いになっている住民の皆様の生活があるので、それを何とかしていきたい、というのが根幹的なもの。</p> <p>交流という面では、湘南国際村だけを見るのではなく、近くにある場所とつなげる、連携するという視点が大切。</p>
<p>検討委員会のメンバーに自治会の役員や、ここで働いている方々が一人も入っていない理由、外部の人だけで検討委員会が作られている理由は。</p>	<p>まず、専門家の立場から、第三者的な立場からいろいろなご意見、アイデアを出していただいて、その中で方向性を考えていく、ということやってきた。ただ、自治会の方々とお話をして、参加を希望するということであれば、そこは検討していきたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>住民だけではなく、企業の研修センターがある。もっと検討委員会の中に入れていただきたい。外部の人間が頭でっかちでやって、アイデアを出してでは、現実に合っているのか、非常に疑問。京浜急行の方が委員に入っているが、京浜急行が一番よく分かっているはず。本当に地元のこと、三浦半島全体のことを考えたら、京浜急行が非常に大きな力を持っている。これだけ偉い方が委員に入っているの、女性の目線で見られると思う。「自治会の代表がいないのはなぜか」という話が出てこないのか、不思議だ。住民の意見を聞くと言っても、それは参加とは違う。ただ意見を聞いただけ。「地元の意見も聞いて、集約してやりました」と言われたら、とんでもないことになる。</p>	<p>京浜急行には、必ずお伝えする。村に入っている施設の方々も、というお話をいただいたので、これから考えていきたい。</p>
<p>三浦半島中央道路が「現行計画イメージ」に移行した理由は。現行計画がどのくらい進んでいるのか。実現性として、あと何年くらいを目途に計画しているのか。あくまでバイパスのようなものになって、BC地区からは一切、車の出入りができないのか。</p> <p>活性化は、あくまでもA地区のみか。BC地区が、今後、市街化調整区域のゾーニングを変更して、建物が建てられるようになる可能性が残されているのか。</p>	<p>元々ゴルフ場の開発跡地なので、可能な限り、既に開発されたところ、人工的に山を削ったところを通るようにルートを作った。BC地区の中に出るような道路は、そこまで細かく都市決定しないので、将来に委ねられている。全くゼロということではないが、ほぼ白紙だとお考えいただきたい。</p> <p>いつから着工するかについては、道路担当に確認するが、私どもの知る限りでは、当分の間、工事に移る予定はないと聞いている。</p> <p>BC地区は、自然環境を生かした上でどう活用できるのか。湘南国際村の基本構想、住民の皆様に悪影響を及ぼさない活性化策があるならば、チャレンジしてもよいのではないかと考えているので、全くのゼロというわけではない。</p>
<p>おいしいものを食べたい、楽しみたいという部分が欠けた文化交流を目指し過ぎていたのでは。温泉、日帰り温泉などはとても流行っている。</p> <p>葉山は「交通の便の悪さがあるが、そこがよくなってしまうと、環境が壊される危険性を含んでいるから足踏みしている」という面もあると思う。</p> <p>東逗子や逗子の駅から、小さいタイプのコミュニティバスが短い間隔で動くことが実現できるくらい、心を惹かれる文化交流。おいしいものを食べて、楽しんでという心の安らぎを休日に求めているので、そういったものがここでも</p>	<p>バランスの問題で、便利になることでのマイナス面と、不便であるがゆえのプラス面がある。皆様のご意見、感覚をお聞かせいただかないと進められないと感じている。</p> <p>コミュニティバスも一つのアイデア。そういったご意見があったことをつなげていきたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>提供されている状況をうまく作れるとよいのではないか。</p> <p>八ヶ岳音楽堂などは、自然豊かな中に建っているが、同じような活動を近い所で実現できるという豊かさが提供できる場所にしていければ、交流拠点として立ちいくようになっていくと思う。</p>	
<p>インフラについて質問が出ることは容易に想像ができたと思うが、それに答えられる部署の職員が同席でないということが、大変残念。県の中で関連の部署の職員、市の関連部署の職員を同席するという形で検討いただけるか。</p> <p>この場で生の声で話したことが書類となって、検討委員会に渡る時に、ニュアンスが違うということがないよう、検討委員会にお伝えする書面を、例えばこちらの自治会の方々に同じものを出すことができるか。</p> <p>告知が大変遅かった。今後は、ぜひ告知を早くしていただきたい。</p>	<p>生活環境に関わる部分は市、町が中心となるので、今後は、必要に応じて、関連の市の担当職員、あるいは県の職員を含めて、こういった場に同席するようにしていきたい。</p> <p>今回いただいたご意見を検討委員会に伝える書面を皆様にもお渡しするようにしたい。</p> <p>「告知が遅かった」点については、本当に申し訳なかった。次回は少なくとも3週間前、もう少し早く整えば、それでやらせていただきたい。</p>
<p>コミュニティバスの運用への要望は、横須賀市の中で動いているはず。許認可は県ではない。市の議員の責任である。県にコミュニティバス等々のインフラの問題を質問するのは、如何なものか。市の方で頑張って、京急ときちんと話をしてほしい。</p>	
<p>我々は横須賀市民だが、小学校は葉山。買い物は逗子。住民からすると、活性化といっても、交流より、ここの住民が増えて若々しい街になればと思う。子や孫と一緒に暮らせば人口は増えるのでは。小学校に、ちゃんと通えるようにしたい。土日でも、会社に通勤できるようにしたい。それだけだ。そうすれば子も孫も住むようになり、活性化される。それが一番。子や孫が暮らせる街になりたい、そのためにどうするかを県として考えてほしい。</p>	<p>身近なところから解決してほしい、足下を見た政策をしてほしいといったところは、本当に我々の身に突き刺さる思いで聞かせていただいた。</p> <p>住民の皆様方なくして、この湘南国際村の活性化も発展もないと考えているので、ぜひ、一緒に考えさせていただければと思っている。</p>

湘南国際村の活性化に向けた検討に関する意見交換（第1回-㉔）

- 1 日 時 平成30年6月15日（金） 14:00～15:55 （天気：雨）
- 2 場 所 湘南国際村センター 1階 ルミエール
- 3 出席者 27名
- 4 発言要旨（※資料説明の最後に、委員会の「非公開」等について以下のとおり説明）
 - ・ これまでは委員会を「非公開」としてきたが、方向性をとりまとめるに当たり、柔らかい段階で、何らかの形で委員会を「公開」することを検討したい。
 - ・ 日曜日の意見交換の場で「住民の代表を委員に入れるべき」とのご意見があった。自治会に相談して検討していくとお答えした。

出席者からのご意見	県の回答
<p>成功例と失敗例がある。その中に、それぞれヒントが入っている。需要と供給がマッチしなければ、どんなに立派な施設ができても駄目だ。</p>	<p>これまでの成功例、失敗例を見ながら、どこに需要があるのかを踏まえたい。そのためにも、こうして皆様からの生の声を聞かせていただきたい。</p>
<p>湘南国際村ができる前に、大変な反対運動があった。当時の人たちは、生活どころか命まで犠牲にして反対運動にかかわってこられた。その振り返りをやらないで前ばかり向くのではなく、総括しておく必要があるのではないか。そうしたことをされているのか、いないのか。</p>	<p>今、この場で「ここがこうだった」と申し上げることはできないかもしれないが、仮に、今後、いろいろな議論を踏まえて、平成18年と同じように基本計画を改訂するとなった場合、今までの基本計画はどうだったのか。一度整理した上で、次に進めていくのだと思う。</p>
<p>ここで歳をとっても生きていけるような手立てについて、我々も一生懸命考えないといけないが、ぜひ、行政の方々もご検討いただきたい。</p>	<p>スーパーなどを、我々が「建てる」とはできないが、何もしないでよいのか。人がたくさん来るのであれば、バスも「採算が合う」となり、出店があるかもしれない。我々としてはまず湘南国際村の魅力を発信して、人が来ていただけるように、何かやれないかと考えている。</p> <p>今の段階で、様々なアイデアを出し、そこから見えてくる方向性を議論させていただきたい。その時には、生活している皆様が第一なので、住民の皆様の生の声をいただいて、それを議論につなげて検討していきたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>湘南国際村憲章に夢をもって、守ってきた。緑化協定なども順守してきたが、ここから出ていく方がいて、次の方、また次の方が入る際、新しい人に伝わらず、環境がだんだん悪くなるという現象が生じつつある。</p> <p>ここができた時は、神奈川県の方々も、この湘南国際村をどうしよう、よくしようという熱意があったが、だんだん薄らいできたのではないか。県でも熱意をもって見てほしい。</p> <p>環境のほかには、地震に強いということ。地盤は割とよい。</p>	<p>土地建物の売買で、売り主から買い主に責任をもって伝えていただくべき。環境ということで、犬の放し飼いの注意喚起の看板を付けてきた。犬の放し飼いや不法投棄、仮設駐車場への夜間駐車について、葉山警察に伝えた。</p> <p>これだけ多くの住民の方々を抱えているというのは、その当時の先輩たちにも負けない立場。活性化にあたり職員に熱意がないということは考えられないので、負けない熱意をもってやっていきたい。</p> <p>検討委員会には、インフラに詳しい方もいるので、今回の話を伝える。</p>
<p>アメリカで住んでいた場所は、クジャクが放し飼いになっていた。不便だったが、湘南国際村も、そうした何らかの特徴が必要ではないか。交通問題を解消して、特徴を宣伝する形で不便というものを払しょくして、環境、あるいは子どもがいても安全という、何か違うものを押し出して宣伝した方が、若い人が来て、活性化するのでは。</p>	<p>「国際交流が非常に身近にある」という特徴がある。そうした特徴、「売り」になるものをお聞かせいただきたい。そうした「売り」になるものを軸にして、この湘南国際村を発信していきたい。</p>
<p>食、交通、医療の3つについて、要望に答えられないと、活性化も空論になってしまう。</p> <p>行政が葉山町と横須賀市になるが、連携はどのようにやっていけるのか。</p> <p>若い世代が来てくれるとよいが、環境整備をどうするかが大事。例えば、めぐりの森は、子どもの教育の場としても、まれにみる環境ではないか。</p> <p>研修生の外国の方にほとんど毎日お会いして、話す機会もあるが、彼ら彼女たちは非常に喜んでくれる。そうした交流の仕方があってもよいのでは。</p>	<p>生活環境を解決するために、まずやれることを考えていきたい。もっと魅力ある場所にして、訪れる方が多くすることが、解決につながるのではないか。</p> <p>めぐりの森を教育の場とする話を検討委員会にも伝えて、参考にする。</p> <p>生活に一番近い行政は横須賀市が担っている部分が多いので、次の会合には横須賀市にも出席してもらおうよう、話を進めたい。</p> <p>外国人の方々と話すと喜ばれるということで、国際交流がかなり身近にあるから出てくる話だと思う。こうした生の声を教えていただきたい。</p>
<p>70歳台前半が多くなったことを、負の財産と考えずに、逆転の発想をしたらどうか。例えば自動運転で巡回するバスを走らせるなど、夢のある未来につながっていくような構想をもっていただきたい。パッチワークのように問題に「ツギあて」せず、夢のある構想を出してもらえれば、皆さん協力して、新しい街づくりをしていける。</p>	<p>この街の「売り」は、皆様の共通認識がある点であり、これだけ区画がまとまっている場所は、日本国内を探してもなかなかないのでは。パッチワークではない、夢のあることが何かできないのかというご意見があったと、検討委員会に話をつなげたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>同じ地域に居を構える企業として、もう少しフェスティバルを盛り上げるような努力を、こちらから働きかけてもよいのではないかと。 千本桜構想があったが、その後の状況が知りたい。 めぐりの森の一番手前に農園もある。入口で一番条件のよい所にビニールハウスが林立しているのが、どうも目についてしょうがない。もっとみんなが自然を楽しめるような、めぐりの森になってほしい。</p>	<p>湘南国際村の中での、施設同士の横の連携、つながりができていなかった。横のつながりが取れるように、住民の皆様からも見えるような形にしたい。 千本桜は、森の入口に今も植えている。森と畑の学校も、収穫物を販売している。めぐりの森という名前を付け、様々なことを掲げているものの、普段は森に入ることができない状態になっている。あれだけの自然環境を、どうやって活用していくのか、検討委員会をはじめ、皆様からもご意見をいただきたい。</p>
<p>三浦半島中央道路が、いつ頃、開通するという目途はついているのか。</p>	<p>今の段階では、まだ具体的にははっきりしていないと聞いている。</p>
<p>ハード面で一番大きいのは交通アクセス。これが開通すると、湘南国際村も活性化されて、需要も増えてくるし、交通の便もよくなる。できるだけ連携しながらプッシュしてもらい、早めに計画していただきたい。 ソフト面では高齢化に伴う福祉、医療。自治会の力では限界があるので、「県は計画を作ればよい」ではなく、ぜひ誘導性がある計画を考えてほしい。</p>	<p>いつできるかははっきりしていないが、様々な声があったこと、皆様が望んでいることを道路部門に伝えさせていただく。 こういう施設ができるとは言えないが、何ができるのか考えて、やれることから取り組み、10年後、20年後から見た時に「あの時、動き始めてよかった」となるように、ハード面、ソフト面含めて、できる限り頑張っていきたい。</p>
<p>何とかバスの便数を増やして、せめて買い物に行けるようにしてほしい、というのが本当に、ここの住民の切実な意見。「バスがないなら、ここを出ていくしかない」ということで、高齢になってどんどん出ていっている。 めぐりの森、里山づくりという声は聞くが、現実的に、全く接することができない。ただ草原と木があるだけで、魅力ある森に、全く見えない。 今後、このBC地区を湘南国際村の「売り」にするなら、ぜひ英知を結集して、何か特徴のある、緑を生かしたものを作っていただきたい。少なくとも散歩ができるトレッキングルートや、自転車に乗る方が多いので、マウンテンバイクのルートを作れば、若い人もどんどん来て、関心を持っていただけるのではないかと。あれだけ広大な美しい緑があるのに、住民すらも散歩できていない。 仮設駐車場から本当にすさまじい量のゴミが出るので、拾っている。</p>	<p>県の名前でもバスの要望として出させていただいた。コミュニティバスについては、横須賀市に要望が出ているという状況である。今日も、改めて「そこが一番大事だ」という声をいただいたので、重ねて関係各所に伝えていきたい。 めぐりの森については、今までは閉じていて、公募事業や植樹活動など、特定の時だけ入れるようにしていた。まずできるところから、少しのエリアかもしれないが、例えばそこだけは使えるようにするといったことも考えられると思うので、検討していきたい。 仮設駐車場のゴミについて、本来は拾うべき場所ではないのに拾っていただき、大変ありがたい。我々としても、こまめに対応したい。</p>

（裏面白紙）

湘南国際村の活性化に向けた検討に関する意見交換（第1回-㉓）

- 1 日 時 平成30年6月15日（金） 19:00～21:10 （天気：雨）
- 2 場 所 湘南国際村センター 1階 ルミエール
- 3 出席者 11名
- 4 発言要旨（※資料説明の最後に、委員会の「非公開」等について以下のとおり説明）
 - ・ これまでは委員会を「非公開」としてきたが、方向性をとりまとめるに当たり、柔らかい段階で、何らかの形で委員会を「公開」することを検討したい。
 - ・ 日曜日の意見交換の場で「住民の代表を委員に入れるべき」とのご意見があった。自治会に相談して検討していくとお答えした。

出席者からのご意見	県の回答
<p>現状認識が重要。本当に重要なことは、研究・研修施設への来村者がどのくらいで推移しているのか。企業の研修施設が活用されていない、ということが問題だ。</p> <p>湘南国際村センターは、インターネットで調べると、毎年5,000万くらいの赤字になっていると言われているが、どうなのか。それを示すべき。センターが本当に活用されているのか疑問である。そこが一番問題だ。本当は、それをここに載せるべきだ。人口がどうのこうのは、我々は分かっている。</p> <p>人数を資料に示すべきだ。年度別に。</p>	<p>年間を通じて、最近では約20万人が訪れており、施設の使い勝手をよくしていくことが、バス便などに繋がっていくのだと思うので、利用がしやすい形にもっていきたい。</p> <p>センターは株式会社湘南国際村協会が運営しているが、この協会は、ご指摘のとおり、2期連続で赤字となっている。湘南国際村センターの宿泊者数は、年間で約33,000人。</p> <p>次回の意見交換の資料では、人数をお示しする。</p>
<p>国際会議の誘致は、どこが主体となって取り組んでいるのか。</p> <p>研修施設のさらなる活用について、どこかが束ねるような、ドライブをかけるような力があれば、より研修施設の利用率も上がるのではないかと。研修の誘致活動をどうやっているのか。</p> <p>ロフォス湘南なども客室を持っており、一般には基本的にオープンにしているが、それぞれレストランなど施設があるにも関わらず、外から来た人が泊まれる場所が、基本的にはセンターしかない。客室の稼働率はどのくらいか。</p> <p>湘南国際村をネットで検索しても、「このサイトにアクセスすれば、宿泊施</p>	<p>国際会議の誘致については、一義的には湘南国際村協会だが、県も協力し、連携して誘致している。</p> <p>宿泊施設が他にもある中で、例えば自分の施設で宿泊者が溢れてしまった場合、横で受けてもらうということは、やっている施設もある。ただ、連携が隔々までうまく取れているかということ、そこまではできていない。我々の方でも音頭をとるような形で、皆さんの情報共有を進めていきたい。</p> <p>湘南国際村センターの宿泊稼働率は、だいたい6割程度。まだまだ伸びしろがあるのではないかとと思うので、力を入れて取り組んでいきたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>設はこうで、レストランはこうだと一発で分かる」ものがない気がする。少し使い勝手が悪く、全体像が分からないように思う。</p>	<p>湘南国際村の全体のホームページもあるが、人を呼び込もうというページになっていなかった。全体の見せ方の充実も、もっと力を入れていきたい。</p>
<p>当初イメージとはだいぶ変わり、小学校ができなかった。一番大きな市民病院に行くにも直通バスがない。スーパーは下に下りていかないといけない。さいか屋が巡回車を出してしてくれたが、1年でなくなった。</p> <p>交通機関、医療機関、買い物の3点が一番大きな課題。検討委員会に京浜急行が入っているが、三浦半島の交通機関は京浜急行しかない。公共交通機関に対しては、行政の大きな力でバックアップをいただきたい。</p> <p>お子さん、お孫さんと呼ぼうと思っても「通勤、通学が不便だから難しい」という話も聞いている。やむを得ず村を出ていかざるを得ない方がいる。行政からも力をいただき、そこがよくなると外から来る人たちも増えてくる。</p>	<p>さいか屋の巡回は、どんな形で進んでいたのか調べていきたい。</p> <p>この場所を魅力的にするのに当たって、そうしたものをすぐに連れてきたり、バスの本数を増やせたら一番よいと思うが、すぐにできるとは言えない。ただ、今の段階で何か動かないといけないのでは。魅力をうまく活用して、自然環境を生かしながら、何ができるのかを考えていく。</p> <p>まずはここを訪れる方が増えれば、人数が多いならバス便を、商売が回るなら商業施設となるかもしれない。今できることから、取り組んでいきたい。</p> <p>京浜急行の話をいただいたが、こうしたお声があったことは、必ず京浜急行に伝えて、これからの検討につなげていきたい。</p>
<p>この湘南国際村センターを将来とも維持していくということによいのか。撤退などを考えていないのか。</p> <p>活性化しないと、ここが廃墟になるのではないかと。国際会議は、東京、横浜市が相当開発されており、会議でわざわざここに来るかというと、来ない。</p> <p>将来的にずっと研修施設を持ち続ける企業ばかりなのか。企業で持つのはナンセンス。別のことを考えないと、住民だけが置き去りにされる可能性はある。</p> <p>定量的に、今現在、村に何人来ているのを、将来的に何人にしたいのか。</p> <p>また、定性的に、活性化とはどういうことか。</p>	<p>定量的な目標だが、何人であるのを、何人にすると考えているものはない。</p> <p>定性的に「活性化とは何ぞや」については、交流人口を増やして、人数が増えればバスが増えるかもしれないし、商業施設ができるかもしれないという話をしているが、目指す活性化とは何なのかを整理しないといけないと考えている。検討委員会でも議論して、整理してお示ししたい。</p>
<p>定量的ということだが、住んでいる人を増やすのか、それとも事務所などで働く人、研修に来る人を増やすのか。遊びに来る人を増やすのか。</p>	<p>まずは交流人口を増やしていく。それが生活利便性の向上につながれば、ひいては、お住いの方の人数が増えることにもつながっていくのではないかと。</p>
<p>遊びに来る人を増やすのか。</p>	<p>BC地区は、横須賀市道以外は原則立入禁止としてきた。そこをうまく使うことで、訪れる方が増えていくことが考えられないか、と思っている。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>当面やることと、将来的に BC 地区にお金をかけて取り組む方法とがあると 思う。ある程度お金をかけてやるつもりなのか。</p>	<p>今の段階で、私どもでお金をかけて施設を作ることを考えているわけでは ない。民間の活力を生かして何かできる、ということはあるかもしれない。</p>
<p>検討委員会に、この湘南国際村のよさを一番知っている、古くから住んでい る住民が不在のまま、会議を何回か開催し、今日に至ったのは残念。 BC 地区は、確かに中途半端な形のものもあると感じる。 ここのよいところは、この豊かな自然と人間が共存共栄していること。この 自然を使って、例えば、都心から一番近い、人間と自然が共生できるような地 域を目指していくことが10年、20年後の人たちのためによいのではないか。 5月29日に案内が出た。10日程度で説明会というのは、ちょっと心が痛い。 検討委員会のメンバーに住民を入れていただくなら、とてもよいものができる のではないか。未来に向けて、何とか今の自然環境を今以上に残してほしい。</p>	<p>住民のために議論をするのに、なぜ住民がいないのかというご指摘は、おっ しやるとおりなので、自治会と相談し、住民の代表の方を委員に出されたいと いうことであれば、検討していきたい。 ご案内が5月29日と遅くなってしまい、2週間で切った段階でこうした大 事なお話をするようになった点は、重ね重ね本当に申し訳なかった。次回は9 月頃かと思うが、その時にはもう少し早く、3週間前など、なるべく早くご案内 できるようにしたい。 BC 地区は、今ある自然環境を切り開いてということを考えているわけでは ない。案があれば、アンケートなどを通じてご提案いただけるとありがたい。</p>
<p>県の考え方としては、必要があれば、規制も緩和するスタンスか。 低層集合住宅は建ててはいけないことになっているのか。</p>	<p>もし「そういったことが必要だ」となれば、規制緩和もあり得る。 低層の集合住宅が可能な場所はある。</p>
<p>売却されたのでは。</p>	<p>ライフゆうを運営しているところに売却され、今は駐車場として使ってい る。あともう一つは、IGESの職員住宅を作るということで集合住宅の用地とな っていた。結局、職員住宅を止め、売却された。個別住宅にする形で2次開発 がされて、造成されている部分がある。</p>
<p>上のところは県が所有していたはず。 なぜ売却したのか。</p>	<p>職員の数や、海外から来る研究員の人数が確保できないことを総合的に判断 した結果、県としては税金を使って建てるよりも、民間で活用した方がよろし かりとなり、建物を建てることは断念し、売却した。</p>
<p>その土地を、こういう活用のためになぜ使わなかったのか。 県は無責任だ、ということ。</p>	<p>地球環境戦略研究機関が研究機関として、それなりの規模の研究を重ねる国 際機関を目指していたが、そこがうまくいかなかったのは、おっしやるとおり。</p>
<p>商業施設を上の方でもできるようにするのは、不可能ではないのか。</p>	<p>店舗付き住宅の方が基準としては緩い。専用住宅は、住宅しか建てられない。 今の湘南国際村の中で、画期的な物を求めるのか、それとも静かな住環境を求 めるのかというところで、皆様方のご判断があらうかと思う。もし変えるとな</p>

出席者からのご意見	県の回答
	<p>れば、当然、皆様からご意見を伺うことになる。かなり手続き的に時間がかかり、極めて慎重な形で審議していくことになる。</p> <p>私どもの基本計画は、横須賀市の都市計画としての地区計画の前提を決めるもの。どの方向を目指すか9月に示せればと思う。その上で、この土地をどうするかということになってくる。そうすると、検討委員会というよりも、検討委員会の意見を踏まえて私どもが責任をもって決めさせていただく、ということになる。</p>
<p>住民の代表を検討委員会にお願いしたい。次回の意見交換は9月頃という話があったが、その前に入れないと意味がないので、早急に入れてほしい。この場で、住民の代表を入れるという確認ができればありがたい。</p> <p>活性化といっても、ただ単に人が来ればよいというのではなく、この緑豊かな環境、都会に近いのに良好な自然環境があるので、これは崩さないでほしい。</p> <p>今ある県の施設と、民間を含めた三浦半島の他の施設との、横のつながり、連携の中でここを生かしていくと考えているか。</p>	<p>私どもとしては、住民代表の方について、自治会と相談させていただきながら、入っていただきたいと考えている。</p> <p>素晴らしい自然環境、住環境等を守りながら、いかにこの魅力を発信するか、あるいは魅力ある資源をどう活用していくか、皆様と一緒に議論を重ねたい。</p> <p>湘南国際村は地理的にも三浦半島の真ん中にあるので、回遊性を持たせる際のキーポイントになるのでは。三浦半島全体の活性化も考えながら進めたい。</p>
<p>湘南国際村の強みが何かというと、緑が豊かであること、景観が素晴らしいこと。ただ、それにも関わらず選ばれていない理由がある。東京、横浜に多くの施設が建っているが、そこと比べて遅れている部分を埋めないと、選んでもらえない。湘南国際村の10年後、20年後を見据えていくのであれば、10年後、20年後に対応した湘南国際村にならないといけない。</p> <p>無人バスの実験が、慶應義塾大学の藤沢キャンパスで行われていた。このような社会実験の場として、湘南国際村を使えるのではないか。</p> <p>湘南国際村をアップデートするには、県からかなりのお金を入れないと難しいのではないかと思います。そうした構想、予算取りも頑張りたいです。</p>	<p>湘南国際村の強みの一つとして、国際交流に対して、皆さんが一定の共通認識をお持ちである。まとまった地域で皆さんが同じことを考えていらっしゃる、ある一定の素地がある場所である。これは非常に強みではないかと考えている。こうした地域で社会実験をするというのは、他の場所ではなかなか難しかったとしても、こうした場所であれば受け入れていただける、ということも考えられるのでは。</p>
<p>12年前に改訂されて、ものすごくショックを受けた。BC地区が中断され、梯子を外されたような状態で、何とも言えない気持ちだった。</p>	<p>「やっぱり行きたい、住んでみたい」という場所になるよう、我々だけで考えられることではないので、一番詳しいお住いの皆様からご意見を頂戴して、</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>湘南国際村は英気を養うには魅力ある場所。「やっぱり行きたい」という場所にしたい。ここを拠点に交流して、半島を活性化する。</p> <p>BC 地区を、山を魅力あるものにするには、立派な木を育てると、共生ができる。周辺にはホテルも、過ごしていただくために作るのが有効。</p> <p>ホームステイができなければ、海外の方と一緒に食事をするなど、人の交流をして、文化を吸収する。そういうものが薄れたようだが、もう一度、ホームステイを募っていると丁寧に働きかけていただければ。</p> <p>自然環境の非常によい所なので有効に生かして、住民の声も、専門家の声も集客するために入れて、BC 地区で盛り立てていく。</p> <p>店舗付きの住宅を少しの場所でも作ってほしい。歳をとられた方は、上まで上がるのは大変なこと。住んでいる方が気持ちよく住めるようにしながら、集客を考えていくようお願いしたい。</p> <p>建設的な意見は、メンバーに入れなくても、もしメールなどで声を吸い取っていただけるなら、出させていただく。</p> <p>道の駅でも構わないが、観光の方が車で来られても過ごしていただけるような、安く泊まれる場所を考えていただければ、三浦半島は活性化する。</p>	<p>検討委員会の場も含めて考えていきたい。</p> <p>BC 地区で進めている植樹については、いろいろな方法、考え方があるようだが、そうした話もあったということも伝えていきたい。</p> <p>ホームステイができなくても、垣根を低くして、できる部分でやれる人は取り組んでいく。そうした様々な方法で交流を進めるのは、国際交流拠点をうたっているこの場にふさわしいことだと思うので、新しい交流の形を考えていかなければいけない。</p> <p>いろいろな形で私どもの方にお声をあげていただければと思うので、これからもよろしくお願ひしたい。</p>
<p>今回は9月だが、もう少し早い段階で話が聞けたら。伝手で、6月議会で計画案が提出されると聞き、その計画案の内容を、議員を通じて住民の方が聞くこともあると思う。住民に意見があったとして、9月では遅いのではないかと心配。もしできれば、検討委員会で活性化の方向性をとりまとめると思うが、その中で住民の意見が、案を見た上で反映されるような。地域政策課だけではすごく重荷ではないかとっていて、住民同士でこの場所を活性化する、会議場を活性化させる会議を、音頭だけでも県にとってもらい、湘南国際村の方たち、村協会で集まる場があったらよい。できたら、一般も、企業の方もいて、車座で話ができるような会を設けたらよいと思う。</p>	<p>議会の話があったが、まさに今、皆様からご意見を聞いている状況なので、何か方向性について議会に報告するというような状況ではない。</p> <p>住民同士や入村機関と皆さんでアイデアを出す、意見交換をするというような、非常に積極的なご提案があった。持ち帰って検討させていただければ。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>活性化の方向性をとりまとめるのは、検討委員会でよかったか。 どんな形で検討委員会の内容が公開されるのか。傍聴できるのか、議事録を公開するのか。傍聴できたら嬉しい。 住民代表は、どう選ぶのか。 「三浦半島中央道路」の当初計画、現行計画とあるが、誰が変えたのか。どの辺りを通るのか。 BC 地区は立入禁止ということだが、農業をしている場所に入って大丈夫か。</p>	<p>検討委員会で、活性化の方向性をまとめる中で、それがイコール県の、例えば、計画にそのままなる、ということは決まっていない。有識者の意見ということで伺う場と考えている。 検討委員会の公開、議事録、傍聴も、持ち帰って検討させていただく。 住民の代表をどうやって選んでいくかについては、私どもとしては自治会と相談して決めていきたい。我々が「こうやって選んでください」と決めるものではなく、自治会の中での相談なのだと考えている。 三浦半島中央道路の現行計画は平成 22 年に都市計画決定したものであり、県で行った。 BC 地区の原則立入禁止だが、森の畑の学校で販売しているものを購入するなど、明確な目的があって、その方たちの所に行くのは、問題ない。</p>
<p>畑の中を道路が通るのか。</p>	<p>三浦半島中央道路と植樹している場所などは、共存できるようにしている。</p>
<p>住民同士の検討会のようなものは、検討されると聞いたが、回答は自治会にしていただけか。</p>	<p>私たちが「やってください」ということを決めるものではないと考えている。ご意見としては本当に私もよく分かるし、そういうものがあつたら素晴らしいだろうと思う。そこは、自治会と相談しながら、どうするのか。できるのかできないのか、やっていただけるとしたらどのような形がよいのか、相談させていただきたいと考えている。</p>
<p>湘南国際村がこのままではいけないという現状認識があると思うが、私の考えは少し違う。 この 10 年間の湘南国際村の状況というのは、10 年前に計画を見直して、今はその成果が表れているということを少し認識していただかないといけない。できないものはできない。小学校はできない。現実的な路線ということを踏まえて、ないものねだりはしないという合意のもとに成り立ってきた。当時の経緯、文書、議事録がたくさんあると思うが、どう引き継がれているのか。十分</p>	<p>状況は承知しているので、今回、改めて湘南国際村の活性化について考えることに関して、住民の皆様方、自治会の皆様とよくよく調整させていただき、話をさせていただく。 全ての皆様方にとって百点満点のものができるのは難しい、ほぼほぼ無理だと思うが、お互いにウインウインの関係でいられるところに持っていくということで、できる限りのことをさせていただきたい。</p>

出席者からのご意見	県の回答
<p>伝わっていない部分があるのではなかろうか。当時、住民から要望した文書にいろいろな物があるので、当時の計画に対して、現在、どれだけ達成されたのか、今一度評価していただきたい。決してマイナスではない。達成されている。バスの便など、いろいろ改善されている。自治会館もできた。ないものねだりばかりしても、これは現実的にはできないということは、当時から皆さん分かっていることだった。今までの10年間、見直し後の発展を頼りに皆さん生活されているところがあるので、決してこの10年間、停滞していたわけでも何でもない。一度それを確認していただいて、どこの部分が達成されているのかということを確認して、今回の見直しのスタートに立っていただきたい。</p>	
<p>県と三井不動産にだまされたのかと今でも思っている。それで今、相当安く土地を販売している。当初、入った人から見ると、相当価値が下がってしまっている。それで売りたいくても売れない。</p> <p>BC地区については、ある程度お金をかけて、例えば公園にする、再生エネルギーの発電を行う、実験を行うなど、そういうものでやらないと活性化しない。</p> <p>研修施設だけでは、最終的には駄目になる。ITセンター、データセンターもある。例えばITの事務所などに置き換えないと、活性化しないのではないかと、思い切ってやらないと、住んでいる人は置き去りになる。</p>	<p>いろいろとアイデアをいただいて、それに関しては参考にさせていただく。</p>

（裏面白紙）